

テーマ			
開催地	東京都 (財)電力中央研究所 大会議室		
開催日	2000/5/20～5/21		
実行委員長			
参加枠			
参加費			
5月20日			
12:00～	受け付け開始		
13:00～13:05	開会挨拶	岡野	
13:05～14:05	国立天文台50cm望遠鏡によるCCD観測と画像処理	福島英雄先生	(国立天文台)
13:10～14:25	-----私のCCDスタイル- 1 (一人15分+質問5分程度) -----		
	16cm反射+冷却CCDによる惑星撮影と画像処理	近藤弘之	
	ビットランのカラーCCDカメラ BJ-30Cの使用事例	三田明	
	軽量システムによるCCD撮影の体験と展望	元木基嗣	
15:05～15:15	記念撮影後、休息		
15:15～16:30	-----私のCCDスタイル- 2 (一人15分+質問5分程度) -----		
	入門者のC8とST6によるスタイルなき画像撮影	鈴木節雄	
	私の撮影スタイル	千村雄一	
	解像感を下げないS/N改善法: Nebula Smoother	岡野邦彦	
	特設ベランダでのCCD観望と機材の改良:ピント合わせの際のいくつかの改善	富田五郎	
16:30～16:40	CCDカメラによる小惑星の掩蔽の観測	佐藤 勲 先生	(国立天文台)
16:40～17:10	冷却CCDカメラCCDproシリーズおよびPLANETproシリーズについて	笠原 誠	
17:10～18:30	メーカーデモ1:「SBIG製品 (STV他)」		
	SBIG	マイク・バーバー	
	国際光器	ベリー・グーリー	
18:30～20:30	懇親会 (含、自己紹介)		
20:30～22:00	座談会		
	1) DIPOTY 討論		
	2) その他の話題提供		
	21世紀におけるCCDと銀塩 (仮題)	山田啓作	
	スターシャープは反則か?	岡野邦彦	
	ほか、募集中		
5月21日			
9:00～9:30	インクジェットプリンタの現状 (仮題)	中西昭雄・蒔田剛	
9:30～10:30	メーカーデモ2「ステライメージ3」	上山治貴	(アストロアーツ)
10:30～11:00	メーカーデモ3「ビットラン新製品紹介」	新井一男	(ビットラン)
11:00～11:30	40万画素CCDから160万画素CCDへのアップグレード	近藤弘之・共田尚龍	
11:30～11:50	DIPOTY最終決定	近藤弘之	
11:50～12:00	閉会の辞	川崎誠志	
	解散		

今年も、CCD Astronomy Network(CAN)主催により「第4回CCDカンファレンス CANP2000」が開催される。これは、CCDカメラ・画像処理・観測などの楽しい勉強会。CANは、冷却CCDカメラの国内最大のユーザー・グループだ。

今年は、初心に立ち返り、「私のCCDスタイル」をテーマに撮影・画像処理の具体的な方法の実演を中心に、じっくりとディスカッションしようという趣旨。

また、CANのメンバー等から広くサンプル画像を募集し、CCDの種類別・撮影条件別などを広く網羅したCD-ROMを制作し配付することが企画されている。

もちろん、初心者や、CCDを持っていない方も大歓迎なので、興味を持たれた方はぜひ参加してみてくださいはどうか？

第4回CCDカンファレンス CANP2000概要

日時 2000年 5月20日(土) 12:00受付開始, 13:00開会

21日(日) 12:00閉会

場所

(財)電力中央研究所 大会議室 (東京都)

(※会場はCAMP2000運営委員会とは直接関係ありません。参加申し込み・問い合わせ等は受け付けていませんので、ご注意下さい)

内容

国立天文台・福島英雄先生による特別講演、ハイレベル・ユーザーによるテクニック紹介&勉強会、DIPOTY2000(近1年間で、デジタル・アストロノミーに最も貢献のあった製品等を選ぶ)、メーカーデモ、プリンター・テスト、懇親会等

参加申し込み・お問い合わせ

参加申し込みは、seishi_kawasaki@nifty.com(川崎 誠志)宛に、氏名・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスをお知らせ下さい。

また、機材をお持ちの方は、使用機材等とコメント、さらに発表される方は、発表のタイトル・簡単な内容も合わせてお知らせ下さるようお願いいたします。締め切りは、5月15日(月)までです。

また、各種問い合わせも上記メールアドレスにて受け付けていますので、お気軽にどうぞ。

参加費

5,000円 (懇親会費含む)

交通

小田急線 喜多見駅下車 徒歩5分

会場案内図などは、CANP2000 公式サイトを参照。